

令和5年度第1回 川崎市社会教育委員会議幸市民館専門部会 次第

令和5年6月29日（木） 午後2時から

幸市民館 第1会議室

1 開 会

2 館長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議 事

- (1) あたらしい幸市民館・図書館を考えるワークショップについて （生涯学習推進課）
- (2) 摘録の確認について
- (3) 管理運営実施状況等について
- (4) 社会教育振興事業について
 - ア 幸市民館社会教育振興事業
 - イ 日吉分館社会教育振興事業
- (5) 調査・審議事項について
- (6) その他

5 次回以降の日程について

第2回 令和5年9月25日（月）午後2時～ 幸市民館第1会議室

第3回 令和5年____月____日（____）____時～ _____

6 閉 会

【資料1】 令和4年度第4回川崎市社会教育委員会議幸市民館専門部会 摘録（案）

【資料2】 管理運営実施状況等

【資料3-1】 社会教育振興事業実施状況等（幸市民館）

【資料3-2】 社会教育振興事業実施状況等（日吉分館）

【資料4】 幸市民館専門部会 審議計画（案）

・事業募集チラシ（幸市民館・日吉分館）

【資料1】

令和4年度第4回 川崎市社会教育員会議幸市民館専門部会 摘録

日 時 令和5年2月5日（日） 午後1時～午後5時
場 所 幸市民館 第1会議室
出席者 平井委員、浦山委員、松井委員、大塚委員、夏井委員、片岡委員、梅原委員
欠席者 小泉委員
事務局 加藤幸市民館長、鈴木日吉分館長、松本社会教育振興係長、松下管理担当係長、

1 開 会

2 館長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議 事

（1）市民自主学級・市民自主企画事業の選考について【非公開】

（2）前回専門部会の摘録について【資料1】

事務局 第3回の中で専門部会の情報がどこで得られるかという話が出たのでご説明する。
幸区（幸市民館）のホームページではなく川崎市のホームページに掲載されている。
「市政情報」の中に「審議会・その他会議」の項目があり「会議開催のお知らせ」を調べると開催日時や場所、傍聴の定員といった情報が得られるようになっている。

片岡委員 委員でも知らなかったことで一般の人がこの情報を得るのは難しいと感じる。
傍聴は積極的に呼びかけるものではないが、知らない人に情報を提供するのが市役所の仕事でもある。

夏井委員 だいぶ前の話になるが市民館だよりに審議会などの情報を載せていた時期があった。数行で構わないので専門部会が開催される旨を記載してもいいと思う。

松井委員 他館は市民館だよりに掲載していない場合、幸区だけ載せるのに問題はないか

大塚委員 横並びでないといけないということではない。それぞれの市民館だよりは独自性がある形で特に問題はない。

大塚委員 審議会、専門部会の認知度は低いと前から感じている。市民館は運営審議会があって存在意義があるとも思う。市民が関わっているという意義を知らせて市民館の認知を高めていく必要がある。市民館と専門部会はセットであるとアピールした方が良いと思う。

大塚委員 次回4月号の市民館だよりに6月の開催を載せるということによいか。

事務局 4月号には情報を載せるようにする。

（3）管理運営・実施状況等について

事務局から【資料2】に基づいて説明

【質疑応答】

片岡委員 Wi-Fiを使用できるようになるのは良いこと。これについてアピールすることは考えているか。

事務局 広報媒体としてはやはり市民館だよりメインになってくと思うが図書館含めて全館で受信できる環境になることをできるだけ広報していきたい。

片岡委員 Wi-Fi自体を知らない人がいるので、使用できることにより市民館でどのような可能性が広がるかを事例として伝えることも重要。川崎市全体でWi-Fiを促進しているのなら市民館だけでなく川崎市全体でアピールも必要。

浦山議長 細かいところまでは記載できないかもしれないが簡易的なことでも、タイミング的に6月号の市民館だよりに載せるのは良いと思う。

大塚委員 以前も聞いたかもしれないがトイレが洋式に変わることだがウォシュレットか

事務局 ウォシュレットで、現在トイレ設置している場所に1台ずつ増える。

(4) 社会教育振興事業について

ア 幸市民館社会教育振興事業

イ 日吉分館社会教育振興事業

いずれも事務局から【資料3】、【資料4】に基づいて説明

【質疑応答】

夏井委員 令和5年度の市民自主学級・企画の予算がまだ余っているようであるが今後募集して提案会をする予定はあるか。

事務局 日吉分館は、提案がなかなか出てこなかったこともあり、今のところ再募集は予定していない。

片岡委員 市民自主の事業が市民にとってどんなメリットがあるか図式化して分かりやすく伝えていくことがあっても良いと思う。お金や場所の提供に留まるだけでなく市民としての力量や地域の魅力を高めていく可能性があることとか。すぐに成果が出るものではなく長期的な視点での浸透が必要となるが。負担感を感じる市民もいると思うので市民館がそれを取り除く安心感を与えることも大事。指定管理となった際もこれを引き継いでいけたらよいと思う。

事務局 市民自主事業の受付期間は決まっているものではあるが、事前の説明や相談は市民館ごとに時期は異なっているようなので早め早めに、市民館で活動している人を中心に説明や相談をできる体制を作れたら良いと感じている。

(5) 調査・審議事項について

浦山議長 前回の話し合いから時間が経過しているが、その間、片岡委員、夏井委員からメ

ールで共有された意見をまとめてみた。夏井委員からは「第 11 回中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理【概要】」も参考に提供いただいている。進め方や報告書の中に盛り込みたい事項について意見をいただいているので始めにお二人に要旨の説明をお願いしたい。

片岡委員 浦山議長の提案に従って叩き台になれば良いと思い今後の進め方について提案してみた。審議テーマは「笑顔と多様な夢を育む学び舎を目指して」。サブタイトルは「人・つながり・地域づくりを進める幸市民館」となっているが、1 つ目のキーワード、「笑顔」は子どもの心情、心配や不安がない幸せな状況を象徴的に指している。子どもを中心に周りの住人も一緒に笑顔になっていくような気持ちを象徴的に表している。後程、夏井委員から説明があると思うが「中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理」の中の記載の「ウェルビーイング」がこれに当たるのかと思う。2 つ目のキーワード、「多様な夢」は地域の理想や計画から、個人の希望や個人が尊重される社会までを指す幅広い意味合いが含まれている。隠れたキーワードは互いの違いをこえた「共存」「共生」「協働」「協調」といったつながり、コミュニティであり、この考えを皆で共有していきたいと考えている。これからの作業としては「①地域が抱える課題」について専門部会で詰めていき、それを踏まえて「②市民館事業の限界」、市民館の現在の取り組み状況を職員と点検していく。最後に「③市民館の将来方向」、市民館でできることは何かを考えていくという流れ。初めからあまり具体的なことを出すのではなく、報告書なのでまずは理想や方向性を示す形で良いかと考えている。要点は市民が市民館を通して何かできるかを考えていくこと。市民館だけで運営していく時代ではなく、市民が一緒になって市民館を作っていく方向性を探るのが今回の報告書作成のイメージ。まとめ方は話し合いを中心としたもので、皆の意見を記録、整理して報告書になればいいというのが今回の叩き台の要旨である。

夏井委員 専門部会の回数も時間も少ない中で今後、効率的に進めていけたらと思い、具体的に報告書の体裁を叩き台として作ってみた。「1 はじめに」で今回のテーマ設定になった理由を記述。次に「2 幸区の現状」についての記載。人口の統計資料を利用するのが方法の 1 つ目としてある。「年齢層」(どの年齢層が多いか、事業の対象者を知る)、「昼間人口」(災害時の高齢者・子どもの避難や共助体制などの事業)、「市外からの転入人口」(幸区を PR する事業)を分析ことで、様々な事業に繋がっていくことができると思う。もう一つの分析方法は川崎市の市民アンケート等から市民の社会教育・生涯学習への要求を引用して、幸区の現状をまとめていく方法も考えられる。次に「3 幸市民館・日吉分館の学級・講座・事業の現状と分析」として具体的に市民事業を分析し、良かった点・課題などを抽出してみる。実施した事業のアンケート結果や市民館利用団体や企業との連携で見えてくる現状の分

析も重要だと思う。2、3と合わせて識字学習活動、障がい者社会参加活動といった市民館でしかできない事業での課題も含めて、「4 課題と解決のために」としてまとめていく。最後に「5 幸市民館・日吉分館にあり方」または「今後取り組む事業」を記載して終わりとする形。幸専門部会としても指定管理者制度を導入するにあたり、審議テーマ、サブタイトルを実現するための必要条件としてまとめられたら良いと思う。今回「第11期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理【概要】」をお配りしているが、12頁の「公民館等の社会教育施設の機能強化、デジタル社会への対応」の中でも「子どもの居場所としての公民館の活用」、「住民相互の学び合い・交流の促進」、「各地方公共団体における関連施設・施策や民間企業との連携」、「地域住民や有識者からの外部評価を活用した運営の改善」について触れられており自分たちの考えていることと同じようなことが記載されている。PC等の機器導入、Wi-Fi環境整理等の必要性など、本日話があった内容も記載されている。その他の頁でも「ウェルビーイング」についての説明にも触れてあり我々がテーマとしている「協調的幸福感」と合致する部分が多かったので、この機会に情報提供させていただいた。

浦山議長 片岡委員と夏井委員からは今後の話し合いを進めやすいように叩き台として提案していただいた。全てこの通りにしなくていけないわけではいことをまずは理解してもらいたい。これを元にそれぞれ意見を出してもらえれば。

大塚委員 基本的に夏井委員から示された報告書の構成のイメージで良いと思う。統計データから現状分析をするということであるが「笑顔と多様な夢を育む学び舎を目指して」にどう繋げていくかが難しいところだと感じてはいる。

片岡委員 データとして表れていないため市民が抱えている課題であっても事業にできない課題もあると思う。それをできるよう「見える化」するように話し合っていくのが基本に沿った方法ではある。統計を分析するより、事業の課題から探った方が負担は少ないと思うが。

松井委員 今までは自分の立場から市民館を見ての課題を述べてきており、幸区全体の状況を踏まえての意見ではなかった。

片岡委員 あまり具体的でなくとも良い方向性を出すだけでも大変。

浦山議長 まずは方向性を出してそこから何ができるかを具体化していく作業は時間、労力がかかる。4回だけでは足りない。本委員会では皆が思いつくままに課題を出して方向性を探っていけば良い。

夏井委員 令和6年度には教育文化会館は指定管理者制度が導入される。市民館としてのどんな役割が求められるか今までの分析をして実績を示す。団体との連携で多くの事業展開できることを示して、それを指定管理者導入の際の仕様書に組み入れればと考えている。

浦山議長 6月の専門部会に向けて時間があるのでまずは各委員が感じている幸区や川崎

市の差し迫った「地域が抱える課題」を事務局にメールをすることでよい。

片岡委員 「市民館事業の限界」については市民館担当職員が一番理解していると思う。この部分については同じように市民館から意見を出してもらってはどうか。限界は「壁」、「障害」と置き換えてもらえれば良いと思う。

大塚委員 「幸区」の課題と言っているが、「幸市民館」の課題ではないのか。幸市民館を利用する上での課題を切り口した方が良いのでは。

浦山議長 課題を思い浮かべるときにあまり制約すると小さくなる。発想が抑制されるのでひとまず広く出してもらって皆で選別してみるのも良いと思う。

片岡委員 市民館の出来ることは地域の課題の一部に過ぎない。広く課題を出してもらってシェイプアップしていく感じで。プライベートな課題の方が深刻だったりする。そういった中に地域の課題が潜んでいたりする。可能性は潰さない方がいい。

大塚委員 報告書作成は指定管理者制度導入するにあたって市民館の方向性をいかに示すかに集約されると感じている。そのため「市民館」の課題としておかないと「幸区」とすると広すぎるかなと思った。

片岡委員 特に大塚委員は普段から多くの事業で市民館と深い関りがあるのでそう感じるのだと思う。専門員にも市民館との関わり方は様々。全ての人がそれに当てはまるわけでないので、まずは「幸区」という幅広い視点から考察する形で良いと思う。

浦山議長 委員からは差し迫ってない課題でなくても良いのでまずは規制せず広く意見を出してほしい。6月まで時間的に余裕はある。以降の集まりで課題を収束して、まとめていきたい。まとめの中で結果的に指定管理者制度のあり方について言及する形になるかもしれない。並行して市民館職員からも事業実施して感じた問題点等を出してもらえれば。

平井委員 審議テーマは「学び舎を目指して」とあるが、初めからそのテーマに沿って進めていくのではなく、前段階として各委員がそれぞれの立場の中でサブタイトルの「人・つながり・地域づくりを進める幸市民館」の方向から課題を挙げていくということか。最終的には皆で出た課題を議論してテーマに落とし込んでいくイメージであればその認識で進めていきたい。

松井委員 はじめに審議テーマを決めた時は市民館をどういう場所にしていくかが焦点であった。あまり結論を指定管理制度のあり方だけに偏るのも良くないと思う。どんなことを市民館で学んで、皆が幸せになるかというのが最終的な目的ではないか。

大塚委員 その通りで、自分も指定管理者制度を否定しているわけではない。今後市民館がより良くなる内容を考えて仕様書に付けくわえられたら良いと思っている。

片岡委員 指定管理の話については、それぞれ委員の立場が異なるので、そのような考え方もあると押さえておけば良いと思う。まずは各々が考えている課題を出し合ってそこから皆でまとめていけば良い。課題出しの話だが周りの意見に左右されないように、事務局に届いたメールは直ぐに他の委員に転送しない方法も良いと思う。

色々な意見を集められることが望ましい。今までのやり方と同じ意見を出さなければいけないと感じる方も出てくるかもしれない。

浦山議長 片岡委員の提案した方法が良いという意見が多いようなので、今回は届いた意見メールを他の委員に直ぐに転送しない方法でやってみる。5月10日(水)までに意見を事務局にメール。事務局からは5月末に皆の意見を転送してもらう。浦山には6月29日(木)の専門部会で意見を一覧にしてお配りする関係で事務局からは今まで通り都度、転送してもらう。

5 その他

次々回の日程調整を行い、以下の通り決定した。

次々回日程について、9月25日(月)午後2時(幸市民館 第1会議室)

※開催通知はメールで送信。郵送は行わない。

6 閉 会

幸市民館 管理運営実施状況等

1 日常管理について

施設の受付・設備保守・舞台運営・清掃などの業務に関して、各委託業者と連携・協力しながら利用者が快適に施設を御利用いただけるように管理運営を行っております。

2 補修工事について

	工事件名（内容）	施工場所	施工時期
1	屋上冷却塔漏水緊急補修工事	屋上	令和5年5月
2	大会議室防火ダンパー補修工事	大会議室	令和5年6月～ 令和6年1月
3	舞台調光設備調光器盤等補修工事	ホール	令和5年6月～12月
4	防火扉等補修工事	ホール、廊下	令和5年8月～12月
5	排気ファンモータ修繕工事	3階機械室	令和5年10月～ 令和6年2月
6	大ホール客席座面等補修工事	ホール	令和5年12月～ 令和6年2月

令和5年度 第1回幸市民館専門部会
幸市民館・社会教育振興事業

1 識字学級

(1) 午前コース (水曜午前)		(2) 夜間コース (木曜夜間)	
第1期	5/10～7/12 計10回	第1期	4/13～7/27 計13回
登録者	名・ボランティア 名	登録者	名・ボランティア 名
第2期	9/6～12/13 計15回	第2期	9/5～12/14 計12回
登録者	名・ボランティア 名	登録者	名・ボランティア 名
第3期	1/10～3/13 計10回	第3期	1/18～3/7 計6回
登録者	名・ボランティア 名	登録者	名・ボランティア 名

2 識字ボランティア研修

夜間コース (全木曜日) ブラッシュアップ研修			(ボランティア13名対象)	
回	日程	内容	講師	参加者
1	6/22	学習者のニーズをふまえた識字日本語学習活動の課題や疑問について考える	人材育成コーディネーター 吉田 聖子	11名

ボランティア入門講座 (最終回を除き全水曜日)			(定員20名・申込10名・延人数 名)	
回	日程	内容	講師	参加者
1	5/24	川崎市が目指す識字・日本語学習活動理念、ボランティアのあり方	川崎市国際交流協会 島田 秀雄	7名
2	5/31	幸日本語学級 (昼) を見学する	ボランティアスタッフ	6名
3	6/8	地域で暮らす外国人市民の実情を知る	市民文化局多文化共生推進課 高橋 誠一	9名
4	6/16	日本語ボランティア活動の基礎を学ぶ	明海大学 外国語学部准教授 西川 寛之	5名
5	6/23	同上	同上	7名
6	6/30	日本語ボランティアの役割について学ぶ	人材育成コーディネーター 吉田 聖子	名
7	7/7	同上	同上	名
8・9	7/11	ふれあい館識字学級を見学する	ボランティアスタッフ	名
	7/12	幸日本語学級 (昼) を見学する	ボランティアスタッフ	名
	7/13	幸日本語学級 (夜) を見学する	ボランティアスタッフ	名
	7/18	にほんごワールドを見学する	ボランティアスタッフ	名
10	7/26	川崎市が目指す識字・日本語学習活動を理解する	川崎市生涯学習財団 中村 高明	名

3 障がい者社会参加学習活動「サンデーフレンドパーク」			(全日曜日) (登録者13名)	
回	日程	内容	参加者	
1	5/14	顔合わせ・オリエンテーション [幸市民館]	10名	
2	6/11	マリントワー・氷川丸 [横浜市中区]	12名	

3	7/9	はまぎんこども宇宙科学館〔横浜市磯子区〕	名
4	9/10	小田原城・小田原市尊徳記念館〔小田原市〕〔バスハイク〕	名
5	10/8	ボッチャ体験〔幸市民館〕	名
6	11/12	靖国神社（遊就館）・日本武道館周辺〔東京都千代田区〕	名
7	12/10	クリスマス会〔幸市民館〕	名
8	1/14	太鼓体験〔幸市民館〕	名
9	2/11	手賀沼公園・鳥の博物館〔我孫子市〕	名
10	3/10	お楽しみ会〔幸市民館〕	名

4 平和・人権・男女平等推進学習

（１） 古代官衙につどう人々 ～橘樹官衙遺跡群の発掘を通じて～

全２回 日曜日同日開催（定員 40 名・申込 名・延人数 名）

回	日程	内容	講師	参加者
1	7/2	古代官衙につどう人々 ～橘樹官衙遺跡群の発掘を通じて～	東京大学名誉教授、横浜歴史博物館館長 くまもと文学・歴史館館長 佐藤 信	名
2	7/2	史跡橘樹官衙遺跡群の見学	文化財課学芸員 栗田 一生	名

5 青少年教室事業（小・中・高校生対象事業）

・ 「謎走中！（めいそうちゅう）」 延べ参加人数 名

6 青年教室（成人対象事業）

上記、青少年教室事業とともに実施

7 シニアの社会参加支援事業

8 高齢者セミナー

（１）「すいみんと健幸～睡眠満足幸せの一步～」

全３回 全水曜日（定員 20 名・申込 10 名・延人数 名）

回	日程	内容	講師	参加者
1	5/31	よい睡眠をとるための方法 「実感する」３つのステップ	明治安田生命による	9 名
2	6/7	お悩み別の解消方法 寝室の睡眠環境と寝具選び	明治安田生命による	6 名
3	6/14	睡眠と健康について 健康診断の大切さ	川崎市立井田病院 奥 佳代	11 名

（２）飛び出す市民館

回	日程	内容	開催依頼主	講師	参加者
1	4/27	オカリナ演奏	河原町団地 7, 8, 9 号棟自治会	中村 純子	14 名
2	6/9	オカリナ演奏	リアンレーヴ川崎幸	中村 純子	35 名

9 家庭・地域教育学級

10 市民館保育活動

各講座に応じて適宜実施（別室保育）

11 PTA家庭教育学級講師派遣

各小学校 PTA の計画により実施

12 子育て支援啓発事業（第2，4火曜日午前）

1期：対象：主に3歳未満のお子さんとその保護者

13 市民自主学級

（1）「吾妻鏡から川崎地域を読み解く」

対象：原則としてすべての回に参加可能な方【実施団体：さいわい歴史の会】（延人数 名）

回	日程	内容	講師	参加者
1	6/3 (土)	「吾妻鏡」の時代～武家を考える～	前日本大学文理学部教授 関 幸彦	76 名
2	7/8 (土)	「吾妻鏡」にみる多摩川流域の武士の活躍	駒澤大学非常勤講師・京都芸術大学非常 勤講師 角田 朋彦	名
3	8/5 (土)	「吾妻鏡」にみる多摩川流域の郷・荘・道	同上	名
4	9/9 (土)	鎌倉御家人・加世氏と賀勢荘	同上	名
5	9/30 (土)	「吾妻鏡」を手掛かりに、中世の幸区をひも解く	同上	名

14 市民自主企画事業

（1）「親子で学ぶキャンプと防災」

対象：防災・災害対応に関心のある方、または親子【実施団体：クロキャン】（延人数 名）

回	日程	内容	講師	参加者
1	6/11 (日)	・テント設営 ・災害時避難について ・リスクウォッチ ・蓄電池について	スノーピーク武蔵小杉店 幸区役所危機管理担当 （一社）RISK WATCH 奥田 悦子 株）ライノプロダクツ	23 名
2	9/10 (日)	同上	同上	名
3	11/12 (日)	ロープワーク&火おこし	川崎市黒川青少年野外活動センター 職員	名

15 市民エンパワーメント研修

16 市民講師活用事業（育成・開設）

17 P T A活動研修 全 6 回

(延人数：当日会場参加人数 名・当日 Zoom 参加人数 名・後日視聴者 名)

回	日程	内容	講師	参加者
1	5/26	家庭教育学級説明会	職員	15 名
2	6/17	P T A の意義、会則変更について	川崎市 P T A 連絡協議会長 浦山 利博 前川崎市 P T A 連絡協議会長 舘 勇紀	5 名
3	7/ 15	P T A のお金の使い方と管理	古 市 場 小 P T A 会 長 (幸 区 P T A 会 長 加々美 京子	名
4	9/30	P T A の I C T 化	東小倉小学校 P T A 会長 清水 宣暁 日吉小学校 P T A 会長 織内 雄太	名
5		子ども放送局		名
6		各校の家庭教育学級の取組発表	社会教育振興係職員	名

18 生涯学習交流集会「さいわい学びの広場」

19 学習情報提供・学習相談事業（第 1， 3 金曜日午後）

第 1 期 4/21～7/21（全 6 回）

8/ 4（金）夏休みイベント「3 D メガネをつくろう！」（夏休み基地と同日開催）

20 行政区・中学校区・地域教育会議推進事業

9/16（土）市民館ジャック

10/10（火）市民館キャンプ

1/20（土）ニューイヤーフェスタ

2/3（土）子ども会議

2/24（土）教育を語るつどい

21 地域学習・文化団体連携推進事業

7/22（土）親子体験会

11/11（土）～11/12（日）幸区文化祭

9/23（土・祝）幸区文化講演会（ピアノ演奏）

22 現代的課題学習事業「もっと知りたい、メディアやデジタル情報とのつきあいかた」

回	日程	内容	講師	参加者
1	7/25 (火)	テレ朝出前講座 ニュースの舞台裏 ～アナウンサー体験もしてみよう～	テレビ朝日広報局 お客様フロント部 田邊 美樹	名
2	7/26 (水)	安全なインターネット社会のルール	一社) 共生と共育ネットワーク 青山 真理	名

23 社会教育委員会議専門部会

24 刊行・広報活動

市民館だより（偶数月発行）

25 情報機器等整備

26 寺子屋コーディネーター養成講座

27 幸区多文化共生推進事業

28 市民館コミュニティ推進事業

- ・各提案者（団体）による事業実施（随時）
- ・夏休み基地（8/4 実施予定）

30 幸区御幸公園梅香事業

令和5年度 幸市民館 社会教育振興事業 実施計画 ～多様な人と人が出会う“学びの場”づくり～

領域			事業名	事業内容	事業数 (予算:千円) 消費税を含まず	実 施 計 画															備考
						4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
1 社会参加・ 推進学習事業	識字学習活動		川崎市多文化共生社会推進指針、外国人教育基本方針、川崎市識字・日本語学習活動の指針に基づき、外国人市民等が日本での生活を円滑に営めるように、日常生活に必要な基礎的日本語を身につけるための学習を支援する。また、学習者と支援者（ボランティア）が共に学び合う関係づくりに配慮し、多文化共生社会の実現をめざす。	2 (453)		① 5/10～3/13 午前コース	水曜午前	全35回程度										必要に応じてオンライン学習を取り入れる場合あり			
	識字ボランティア研修		川崎市識字・日本語学習活動の指針に基づき、識字学習活動に関わるボランティア等の資質向上に関する学習機会を提供することにより、多文化共生社会の実現をめざす。	5 (98)		① 5/24～7/26 識字ボランティア研修〔入門〕		全10回													
	障がい者社会参加学習活動		地域での体験活動や交流等の学習機会を提供することを通して、障がいのある人の社会参加促進を図るとともに、ノーマライゼーションの理念に基づき、共に生きる地域社会の実現をめざす。	1 (75)																	
2 市民自治基礎学習事業	世代別学習活動	普遍的課題学習活動	平和・人権・男女平等推進学習	憲法、教育基本法の理念に基づき、世界の平和及び人権の尊重、性による差別や人権に関する問題解決に向けた学習機会を提供し、共に生きる地域社会の創造や男女共同参画社会の形成をめざす。	2 (244)			7/2「古代官衙につどう人々」全2回（午前・午後）													
		青少年教室事業 （小学生・中学生・高校生対象事業）		小学生・中学生・高校生等を対象として、青少年期の課題解決あるいは地域参加に向けた学習機会を提供するとともに、地域の中での仲間づくり、つながりづくりを促進する。	1 (18)																
		青年教室事業 （成人対象事業）		成人期を対象として、成人期の課題解決あるいは地域参加に向けた学習機会を提供するとともに、地域の中での仲間づくり、つながりづくりを促進する。	1 (18)												上記青少年教室と同時開催				
		シニアの社会参加支援事業		シニア世代等を対象として、地域の課題解決あるいは地域参加に向けた学習機会を提供し、シニア世代等の市民が、これまで社会で培った豊富な経験と知識、多様な能力を活かし、これまで関わりの少なかった地域社会での様々な活動に参加できるよう支援する。	1 (35)																
		高齢者セミナー		高齢期の課題解決に向けた学習機会を提供する。また、学習を通じた、生きがいづくりや健康づくりを推進するとともに、幸福な高齢期をおくるための支援をする。	1 (35)		5/31～6/14 「すいみんと健康」全3回											その他出前講座あり			

令和5年度 幸市民館 社会教育振興事業 実施計画 ～多様な人と人が出会う“学びの場”づくり～

領域	事業名		事業内容	事業数 (予算:千円) 消費税を含まず	実施計画												備考
					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
2 市民自治基礎学習事業	子育て・共育学習活動	家庭・地域教育学級	子どもを豊かに育む地域社会の創造を目指し、子育てに関する家庭・地域課題の学習機会を提供し、親として市民としての学びを支援する。	2 (93)													
		市民館保育活動	親等の学習活動への参加を促進し、乳幼児の社会的成長を支援するために、主催事業に適宜併設する形で保育活動を実施する。	2 (106)													
	家庭教育推進事業	P T A家庭教育学級講師派遣	子どもの理解や親の役割及び家庭環境、家庭教育に関する地域における諸課題等についてP T Aが実施する家庭教育学級に対し、講師派遣等の支援を行うことにより、子どもの健全な育成に向けた、学校・家庭・地域の連携による学習活動の振興を図る。	(*)													報告会
		子育て支援啓発事業	地域における身近な子育て関連情報を保護者等に幅広く提供するために、子育て情報冊子等の作成・配布や、保護者同士の交流を図るための集会等の開催を行う。	1 (*)													
3 市民学習・市民活動活性化学習事業	市民自主学級		市民と市民館の協働により、地域や社会の課題解決に市民自らが取り組むために必要な学びの場を創り、市民の主体的な学習活動や市民活動を活性化する。	1 (150)													
	市民自主企画事業		地域や社会の課題解決や地域の特性に応じた生涯学習・文化芸術の振興や、市民活動のネットワーク化の活性化等を目的として、集会、講演会等多様な形態の学習事業を市民と市民館が協働で実施する。	1 (150)													
	市民エンパワーメント事業	市民エンパワーメント研修	市民活動・ボランティア活動に関する学習機会を提供することにより、市民自らが考えながら生活・地域課題等に取り組むことができるように、市民主体の地域づくりを支援する。	1 (48)													
		市民講師活用事業	様々な分野において豊富な経験や資格、技術等を持っている市民が、地域の生涯学習における身近な学習支援者「市民講師」として活躍できるよう、必要な知識や技能等を学ぶための育成講座等を実施する。	1 (19)													
		P T A活動研修	子どもの健やかな成長を支えるP T A活動のあり方等についての学習機会を提供することにより、各学区や幸区の特徴を生かしたP T A活動の活性化を図る。	1 (32)													
		生涯学習交流集会	いきいきとした幸区の社会教育の展開に向けた、意見交換や成果発表などの交流を通して、市民が主体的に学ぶ地域の生涯学習環境の醸成を図る。	1 (18)													

令和5年度 幸市民館 社会教育振興事業 実施計画 ～多様な人と人が出会う“学びの場”づくり～

[illegible]

■幸区役所の事業

領域	事業名	事業内容	事業数 (予算:千円)	実施計画												備考
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
幸区地域課題 対応学習事業	幸区多文化共生 推進事業	川崎市多文化共生推進指針に基づき、多文化共生に関して生じている地域の課題を具体的に把握し、引き続き増加する外国人市民の生活に根差した課題をサポートする内容を取り上げ、地域課題の解決に向けた取組を地域の人的資源を活かしながら、外国人市民も共に暮らしやすいまちづくりをめざす。	1 (613)	← 実行委員会（通年活動） →												実施内容については、 実行委員会と協議
	市民館コミュニティ 推進事業	「これからのコミュニティ施策の基本的な考え方」に基づく幸市民館におけるコミュニティ推進事業を実施することで、多様な主体が出会い、つながるとともに、市民が自ら地域の課題解決や活動・交流に参加していけるよう支援する。	1 (206)	← 実行委員会（通年活動） → ● 8/4「夏休み基地」												実施内容については、 実行委員会と協議
	幸区御幸公園梅香事業	地域の歴史を知り、地域への愛着や誇りを育むことができるよう、歴史や地名の由来について、学ぶ機会を創設する。	1 (＊)													未定

令和5年度 日吉分館事業実施計画及び実施報告

—令和5年6月29日第1回幸市民館専門部会—

1 家庭・地域教育学級

ゆめみ☆学級(全9回) 定員10組

親+子=合計

回数	実施日	内 容	参加者(人)
1	10月6日(金)	学習の進め方・保育について説明	
2	10月13日(金)	自己紹介・オリエンテーション	
3	10月20日(金)	より良いパートナーシップについて	
4	10月27日(金)	子どもが喜ぶお弁当を作ってみる	
5	11月2日(木)	夢見ヶ崎動物公園への遠足	
6	11月10日(金)	バランスの良い食事のとり方について	
7	11月17日(金)	「大人の塗り絵」を体験する	
8	11月24日(金)	子どもに合わせた絵本選び	
9	12月1日(金)	学級のまとめ・今後の子育てについて	

2 市民館保育活動

「ゆめみ☆学級」参加者向け保育 (全9回)

10月6日から12月1日に実施

3 子育て支援啓発事業

「子育てパーク・日吉 ひろばであそぼう」定員 各10組

・ひよこクラス(0歳～1歳6ヶ月) 第3木曜日(5月～7月、9月～2月全9回)

6月15日まで 2回実施 参加者 延べ 8組 19人

・パンダクラス(1歳7ヶ月～3歳) 主に第1火曜日(5月～7月、9月～2月全9回)

6月6日まで 2回実施 参加者 延べ13組 30人

4 市民エンパワーメント研修

「子育てママを地域で応援! ～保育ボランティア講座～」(全5回)

定員20名

回数	実施日	内 容	参加者(人)
1	9月1日(金)	保育ボランティア活動について学ぶ	
2	9月8日(金)	子どもの見守り方を学ぶ	
3	9月13日(水)	子どもと楽しく遊ぶ方法を学ぶ	
4	9月22日(金)		
5	9月29日(金)		

5 生涯学習交流集会

「さくらフェスタ日吉」 令和6年3月17日(日)実施予定

日吉分館市民実行委員会 毎月開催

さくらフェスタ日吉拡大実行委員会 第1回 令和5年 9月 日()実施

第2回 令和5年12月 日()実施

第3回 令和6年 1月 日()実施

6 市民自主企画事業

「まちのお茶の間事業」(全5回)

回数	実施日	内 容	参加者(人)
1	6 月 21 日(水)	救急救命講座	9
2	8 月 20 日(日)	ボードゲーム	
3	10 月 28 日(土)	落語	
4	12 月 22 日(金)	初心者向け Zoom 講座	
5	2 月 23 日(水)	Zoom で日本語講座	

7 シニアの社会参加支援事業

「いきいきシニアライフ(仮)」(全5回)

市民講師を迎え、アロマテラピー・フラワーアレンジメント・発酵食品づくり

などについて共に学ぶ中で、同世代の仲間づくりに繋げる

10月～1月 火曜または木曜午後に実施予定

8 地域コミュニティー交流・学習事業

(1) 生涯学習体験教室

竹細工づくり 12 月 9 日(土)

(2) 日吉あそびっ子クラブ(全4回) 定員16名

回 数	実施日	内 容	参加者 (人)	スタッフ (人)	ボランティア (人)
1	7 月 31 日(月)	みんなでゲームをしよう			
2	8 月 2 日(水)	紙ひこうき大会			
3	8 月 7 日(月)	バルーンアートに挑戦			
4	8 月 9 日(水)	防災クッキングに挑戦			

(3) 夏休み・アニメ映画会

8 月 4 日(金) 10:30～11:45

(4) オータムミュージックフェア 11月11日(土) 15:00 開場 15:30 開演
 出演:「なべとギターと。」スティーロパンとギターのセッション
 定員:60人(予定)

10 地域課題対応事業 地域資源を活かしたまちづくり事業

「郷土の歴史と文化を活かした日吉まちづくり事業」

歴史講座

※今年度から日吉のタカラモノ活用事業(てくてく日吉等)と統合して実施

「加瀬山と日吉地区の歴史」(全6回を予定)

講義と実地研修を行う

回数	実施日	内 容	参加者(人)
1	10月7日(土)	レクチャー「ふるさと加瀬山」	
2	10月21日(土)	歴史散歩「加瀬山と鎌倉街道を歩く」	
3	11月4日(土)	レクチャー「お江戸の食糧庫・二か領用水」	
4	11月25日(土)	歴史散歩「二か領用水を歩く」	
5	12月2日(土)	レクチャー「川崎宿と日吉」	
6	1月13日(土)	川崎宿を歩く	

11 幸区提案型協働推進事業

幸区の地域ミュージカル創出事業

「かわさきドリームミュージカル～太田道灌と夢見が崎～」

地域の小中学生の出演(ミュージカル・吹奏楽の演奏)を視野に入れている

令和6年から上演に向けた稽古と公演をめざすので、今年度は主に制作準備。

令和5年度の実施の成果として、3月末に朗読劇の発表を幸市民館・日吉分館で各1回予定している。

令和5年度 日吉分館 社会教育振興事業 実施計画

領域	事業名		実施計画	事業数 (予算)	年間スケジュール												担当
					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	世代別学習活動	シニアの社会参加支援事業	シニア世代等を対象として、地域の課題解決あるいは地域参加に向けた学習機会を提供し、シニア世代等の市民が、これまで社会で培った豊富な経験と知識、多様な能力を活かし、これまで関わりの少なかった地域社会での様々な活動に参加できるよう支援する。	千円 1 (76)								11月～12月講座実施予定					振興担当職員
	子育て・動共育学習活動	家庭・地域教育学級	1歳半～3歳（就園前）の子どもを持つ親子10組で実施。毎週金曜、全9回を予定している。	千円 1 (70)							10月～12月「ゆめみ☆学級」実施予定						振興担当職員
		市民館保育活動	家庭・地域教育学級における保育を予定。必要によりほかの事業においても保育活動を実施する。	千円 1 (20)							10月～12月「ゆめみ☆学級」実施予定						振興担当職員
	家庭事業推進	子育て支援啓発事業	3歳以下の幼児と親を対象に、自由遊び、自由交流、保育士との遊び、育児相談等を毎月第3木曜日（0才～1才6か月・5月～7月、9月～2月）と第1火曜日（1才7か月～3才・5月～7月、9月～2月）に実施。	千円 (0)		5月～7月、9月～2月「子育てパーク・日吉」	5月～7月、9月～2月「子育てパーク・日吉」	5月～7月、9月～2月「子育てパーク・日吉」	5月～7月、9月～2月「子育てパーク・日吉」	5月～7月、9月～2月「子育てパーク・日吉」	ひろばであそぼう（1歳7ヶ月～3歳）第1火曜日（全9回）	ひろばであそぼう（0歳～1歳6ヶ月）第3木曜日（全9回）					
市民学習・市民活動活性化事業	市民エンパワーメント事業	市民エンパワーメント研修	市民活動・ボランティア活動に関する学習機会を提供することにより、市民自らが考えながら生活・地域課題等に取組むことができるように支援する学びを実施する。	千円 1 (70)						9月（毎週金曜日）	全5回	実施予定					振興担当職員
		生涯学習交流集会	日吉分館及び地域で活動するサークル・個人による学習活動の発表・楽器演奏、舞踊、合唱、紙芝居、読み聞かせ、ストーリーテリング、作品の展示等。	千円 1 (40)										「さくらフェスタ日吉」3月開催予定			全職員
	市民自主学級		地域や社会の課題などの解決に向けた市民の学習の場づくりを、市民と行政が協働して行い、自主的に企画・運営するものとして、生涯学習・市民活動を推進し、地域づくりへの参画を支援する	千円 未定 (91)													振興担当職員
	市民自主企画事業		地域の子どもからお年寄りまで世代を問わず交流できる場を提供し、地域共生や文化などの大切さを学びながら多世代交流を行うことで、顔の見える関係が築けるまちづくりを支援する。	千円 1 (76)			6月～2月「まちのお茶の間事業」										振興担当職員
	学習情報提供・学習相談事業		学習相談については、随時、受付中。	千円 1 (10)	通年												
対応学習課題事業	地域コミュニティ交流・学習事業		学校・学年を超えた地域の子どもたちの遊びや体験学習を通じて友情を深め、交流を図る。また、1日体験教室を実施し、それをきっかけにサークル化をはかり、市民の生涯学習振興の要求にこたえる。	千円 1 (60)						●8月「日吉あそび子クラブ」 ●8月「夏休みアニメ映画会」		●11月「オータムミュージックフェア」 ●12月「生涯学習体験教室」					振興担当職員
市民館学習環境整備事業	刊行・広報活動		市民館だよりを年間6号発行、ホームページの更新も定期的に行っている。また、12月からは、活動報告書作成の準備作業に入る。	市民館にて計上			●市民館・分館だより	●年6号	●市民自主特集号		●	●		●		●	振興担当職員
					ホームページ更新（通年）									1月～	活動報告書・要覧作成		

令和5年度 日吉分館 地域課題対応事業 実施計画

[illegible]

令和5年度 日吉分館 幸区提案型協働推進事業 実施計画

[illegible]

令和4年度・5年度 幸市民館専門部会 審議計画（案）

令和4年度

回	審議内容	日程
1	・審議テーマの検討	令和4年 6/26
2	・審議テーマの決定 ・審議計画の検討	9/12
3	・審議計画に基づき調査審議①	12/21
4	・審議計画に基づき調査審議② ※市民自主学級・市民自主企画事業の選考	令和5年 2/5

令和5年度

回	審議内容	日程
1	・審議計画に基づき調査審議③	令和5年 6/29
2	・審議計画に基づき調査審議④ ・調査審議のまとめ ・報告書案の検討	9月
3	・報告書の作成①	12月
4	・報告書の作成② ※市民自主学級・市民自主企画事業の選考	令和6年 2月